



たばたあずみ  
Tel・Fax 550 6674



山根とみえ  
Tel・Fax 550 4224



戸沢ひろゆき  
Tel・Fax 558 9721

## 「安全保障関連法案の廃案を求める意見書」 自民党・公明党が否決!

いま国会で審議されている安全保障関連法案（以下、安保法案）は、衆議院の憲法審査会で「違憲」とされながら強行採決され、いまでも多くの学者・弁護士などから「違憲」との指摘を受けています。市民からも多くの不安・反対の声がある安保法案の廃案を求める意見書を、たばた議員が提出者、共産党・民主党・政和会の議員が賛同者となり9月議会に提出、9月4日に審議が行われました。

たばた議員は提案に先立ち、国会での審議で次々明らかになった問題点のいくつかについて説明しました。

重要な役割のひとつである「兵たん活動」であり、戦争に巻き込まれる原因となり得る

「兵たん支援」で運べる武器・弾薬に制限がなく、核兵器やクラスター爆弾のような非人道兵器を運ぶ可能性もある

憲法前文「全世界の国民が」「平和のうちに生存する権利を有する」、憲法9条「武力による威嚇または武力の行使は」「永久にこれを放棄する」に明らかに違反している

憲法に反する法律は効力を持たない（憲法98条）ので、慎重審議をしても説明を尽くしても無効

### 問題だらけの法案

安倍首相の言う「安全保障環境が変化し、一層厳しさを増し」ている例はすべて破綻し、法案を作る理由（立法事実）がない

自衛隊が行うことになる「後方支援」は、軍事作戦の中の

### 廃案しかない 憲法違反の法案

たばた議員は、憲法違反の法案を強引に成立させようとしている自民党・公明党の暴挙は立憲主義を根底から覆し、法治国家である日本を滅ぼす行為、許すわけにはいかない。憲法違反の安保法案は廃案をと訴えました。

この議案に対し、日本共産党を代表して山根議員、民主党を代表して清水議員が賛成討論を行いました。反対討論は、自民党志清会を代表して天野議員、公明党を代表して増崎議員が行いました。

### 「平和」のために「武力」が必要!?

天野議員は前置きとして「戦争は絶対にしてはいけない」と言いながら、「中東がすぐそこまで来ている」などと特定の地域を敵視する発言をした上で、安倍首相や政府のすでに破綻した理屈をくり返しました。

増崎議員も、やはり「戦争はしてはいけない」と言いつつ、「安保法案は憲法9条の枠内だ」と堂々と「解釈改憲」発言。「日本が攻撃されたらどうするのか」という安保法制とは無関係の個別的自衛権の話を持ち出して、「十分な抑止力なしに対話はできない」という特異な「平和論」を述べました。

山根議員が次世代に平和を引き継ぐため、党派を超えて廃案にと呼びかけましたが、自民党・公明党の反対で、意見書は否決されました。

### 憲法9条は非戦の誓い

日本は過去に、平和と自国防衛を叫びながら他国を侵略してきた苦い歴史を持っています。だからこそ二度と武器は持たない、戦争はしないという憲法9条がうまれたのです。銃を構えて信頼関係はつくれません。武力で平和はつくれません。本当に戦争はしてはいけないと考えるなら、過去の歴史に学ぶべきでしょう。



態度	会派	名前（敬称略）
賛成	日本共産党 あきる野市議団	戸沢 弘征
		山根 トミ江
		たばた あずみ
	政和会	合川 哲夫
		野村 正夫
	民主党	清水 晃
中村 のりひと		
反対	公明党	田中 千代子
		松原 敏雄
		増崎 俊宏
	自由民主党 志清会	子籠 敏人
		天野 正昭
		市倉 理男
		中嶋 博幸
		細谷 功
		堀江 武史
	あきる野市議会 自民党	村野 栄一
奥秋 利郎		

裏面に意見書案の全文

議員提出議案第 27 - 4 号

安全保障関連法案の廃案を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出する。

平成27年 8月 24日

あきる野市議会議長 町田匡志殿

提出者	あきる野市議会議員	たばたあずみ
賛成者	あきる野市議会議員	合川哲夫
賛成者	あきる野市議会議員	清水晃
賛成者	あきる野市議会議員	戸沢弘征
賛成者	あきる野市議会議員	中村のりひと
賛成者	あきる野市議会議員	野村正夫
賛成者	あきる野市議会議員	山根トミ江

提案理由

現在国会で審議されている安全保障関連法案は、憲法違反であるため。

安全保障関連法案の廃案を求める意見書

現在参議院において安全保障関連法案の審議が行われている。しかし、安全保障関連法案は、国民に問うことなく閣議決定だけで憲法の解釈変更がされた集団的自衛権の行使容認を前提としており、個別的自衛権は認めているが集団的自衛権は認めていない日本国憲法に、明らかに違反している。

憲法に違反した法律は作られてはならない。この立憲主義国として当然の原理が脅かされようとしていることに、多くの市民が不安と憤りを抱いている。

よって、あきる野市議会は安全保障関連法案の廃案を求めるものである。

平成27年 8月 4日

東京都あきる野市議会

提出先

内閣総理大臣  
参議院議員議長  
衆議院議員議長

法律相談：9月25日(金)13時半～15時 予約が必要です。市議団までご連絡ください。